

証券コード：3635  
平成29年6月5日

株 主 各 位

神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号  
**株式会社コーエーテクモホールディングス**  
代表取締役社長 襟 川 陽 一

## 第8回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第8回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面により議決権を行使することができませんので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成29年6月20日（火曜日）午後6時までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

### 記

1. 日 時 平成29年6月21日（水曜日）午前10時
2. 場 所 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番7号  
横浜ベイホテル東急  
地下2階 アンバサダーズ ボールルーム  
(末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください)
3. 目的事項  
報告事項
  1. 第8期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）  
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の  
連結計算書類監査結果報告の件
  2. 第8期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）  
計算書類報告の件  
決議事項
  - 第1号議案 剰余金の処分の件
  - 第2号議案 定款一部変更の件
  - 第3号議案 取締役8名選任の件
  - 第4号議案 監査役3名選任の件

以 上

- ◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- ◎当日は軽装（クールビズ）にて実施させていただきますので、株主様におかれましても軽装でご出席くださいますようお願い申し上げます。
- ◎次の事項につきましては、法令及び当社定款第17条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（<http://www.koeitecmo.co.jp/>）に掲載しておりますので本招集ご通知の提供書面には記載しておりません。
  - ① 連結計算書類の連結注記表
  - ② 計算書類の個別注記表
- ◎株主総会参考書類並びに事業報告、連結計算書類及び計算書類に修正が生じた場合には、上記の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。
- ◎本株主総会終了後、経営方針等につきご理解をより深めていただくため、同会場において事業説明会を開催いたしますので、引き続きご参加くださいますようお願い申し上げます。

(提供書面)

## 事業報告

(自 平成28年4月1日)  
(至 平成29年3月31日)

### 1. 企業集団の現況に関する事項

#### (1) 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費に持ち直しの動きが続き、雇用・所得環境も引き続き改善するなど、緩やかな回復基調が続いております。海外においても全体として緩やかに回復してきているものの、依然として経済の不確実性は高く、景気の先行きは不透明な状況となっております。

ゲーム業界におきましては、バーチャルリアリティシステム「PlayStation VR」、 「PlayStation 4 Pro」、 「Nintendo Switch」などの新型ゲーム機の発売により、2016年度の国内家庭用ゲーム市場は9年ぶりにハード・ソフトともに前年度を上回りました。ダウンロード販売が伸長し、新技術や有力なIPを活用したスマートフォンゲームが人気となるなど、デジタル分野も引き続き拡大傾向にあり、ゲーム市場全体は更なる成長が期待されます。

このような経営環境下において、当社では経営方針「IPの創造と展開」のもと、各種施策に取り組んでおります。ブランドとIPを経営の主軸に据え、5つのブランド別の組織体制へ移行し、各ブランドの特徴を活かした「IPの創造と展開」を積極的に推進し、グループ全体の企業価値向上に取り組んでおります。

2月にワールドワイドで発売した『仁王』（PS4用）は、発売から2週間で販売本数が100万本を突破し、グローバル戦略タイトルとして新規IPの立ち上げに成功しました。

同じく2月に株式会社スクウェア・エニックスと共同で開発したスマートフォンゲーム『DISSIDIA FINAL FANTASY OPERA OMNIA』が国内で配信開始され、セールスランキングにおいてApp Storeで8位、Google Playで12位（出典：App Annie）に入るなど好調に推移しております。

一方、エンタテインメント事業において複数タイトルの発売及び配信開始時期が翌期へ延期となり、売上高と営業利益が前年を下回りました。有価証券売却益の増加により営業外損益は好調に推移し、前年を上回りました。これらにより、当社グループの当期業績は、売上高370億34百万円（前期比3.4%減）、営業利益87億81百万円（同20.7%減）、経常利益152億11百万円（同

3.5%減)となりました。また在外子会社の留保利益に係る繰延税金負債が減少した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は116億24百万円(同7.1%増)となり、経営統合以来7期連続の増益となりました。

事業の種類別セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

なお、平成28年4月1日付の組織変更に伴い、従来「ゲームソフト事業」、「オンライン・モバイル事業」、「メディア・ライツ事業」、「SP事業」、「アミューズメント施設運営事業」、「不動産事業」としていた報告セグメントの区分を、当連結会計年度より「エンタテインメント事業」、「SP事業」、「アミューズメント施設運営事業」、「不動産事業」に変更しております。この報告セグメントの変更に伴い、以下の前期比較については、前期の数字を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しております。

### <エンタテインメント事業>

「シブサワ・コウ」ブランドでは、2月に『三国志13 with パワーアップキット』（PC、PS4、PS3用）を発売いたしました。3月にはリアルタイムでの対人戦を楽しめるスマートフォンゲーム『三国志レギオン』（Android版）のサービスを開始し、今期は合計で3タイトルのスマートフォンゲームをリリースいたしました。「100万人シリーズ」では『100万人の信長の野望』が6周年を迎え、引き続き堅調に推移しております。

「ω-Force」ブランドでは、当社グループの人気キャラクターがタイトルやジャンルを越えて集結した『無双☆スターズ』（PS4、PS Vita用）を3月に発売いたしました。また、「討鬼伝」シリーズのスマートフォンゲーム『討鬼伝 モノノフ』（Android版）を同じく3月にリリースいたしました。

「Team NINJA」ブランドでは、2月に『仁王』（PS4用）を発売したほか、『DEAD OR ALIVE 5 Last Round』（PS4、PS3、Xbox One、Steam用）では基本無料版が累計800万ダウンロードを突破し、『DEAD OR ALIVE Xtreme3』のVR対応モードを配信するなど、有料コンテンツも順調な販売を継続しております。

「ガスト」ブランドでは、人気イラストレーターの岸田メル氏をはじめとした豪華クリエイター陣による『BLUE REFLECTION 幻に舞う少女の剣』（PS4、PS Vita用）を3月に発売いたしました。

「ルビーパーティー」ブランドでは、3月に『遙かなる時空の中で3 Ultimate』（PS Vita用）をリリースいたしました。イベント事業では、「ネオロマンス・フェスタ 金色のコルダ Featuring至誠館高校Op.2」や、立体映像技術を用いたバーチャルライブを開催し、来場者数の合計は8万人となり、前期から33%伸びました。

以上の結果により、エンタテインメント事業の売上高は330億25百万円（前期比4.9%減）、セグメント利益は78億15百万円（同25.0%減）となりました。

#### <SP事業>

パチンコ機『ぱちんこCR真・北斗無双 夢幻闘乱』など年間で5タイトルがリリースされました。著作権許諾及びパチンコ・パチスロ機への液晶ソフト受託開発は順調に進捗しました。

以上の結果により、SP事業の売上高は19億92百万円（前期比11.4%増）、セグメント利益は7億36百万円（同2.6%減）となりました。

#### <アミューズメント施設運営事業>

キッズ施設の運営や大型プライズゲーム機導入などの店舗施策が奏功し、既存店売上高は好調に推移いたしました。翌期発売予定の最先端機能を搭載した多機能VR筐体『VR センス』の開発費用が発生しました。

以上の結果により、アミューズメント施設運営事業の売上高は12億66百万円（前期比1.5%減）、セグメント利益は27百万円（同57.2%減）となりました。

#### <不動産事業>

当社グループが保有する賃貸用不動産は引き続き高い稼働率を維持しております。みなとみらい21地区に取得した不動産に係る費用が一部発生しました。

以上の結果により、不動産事業の売上高は7億88百万円（前期比5.0%減）、セグメント利益は2億48百万円（同22.9%減）となりました。

#### <その他事業>

ベンチャーキャピタル事業にて保有株式の売却益が発生した結果、売上高は3億36百万円（前期比145.7%増）、セグメント利益は2億43百万円（同474.1%増）となりました。

なお、当連結会計年度における販売（売上）実績をセグメント別に示しますと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額	構成比
エンタテインメント事業	33,025百万円	89.2%
S P 事業	1,992百万円	5.4%
アミューズメント施設運営事業	1,266百万円	3.4%
不動産事業	788百万円	2.1%
その他事業	336百万円	0.9%
計	37,410百万円	101.0%
消去又は全社	△376百万円	△1.0%
合計	37,034百万円	100.0%

## (2) 設備投資の状況

当連結会計年度に実施しました設備投資の総額は、86億69百万円であります。その主なものは、みなとみらい21地区に取得した不動産に係る費用84億17百万円、開発機材等の購入70百万円、アミューズメント施設機器等の購入61百万円及びシステム関連費用34百万円であります。

## (3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

#### (4) 対処すべき課題

今後の景気見通しといたしましては、国内においては雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復が期待されます。一方、海外では依然として景気の下振れリスク等の先行き懸念は強く、不透明な状況が想定されます。

ゲーム業界におきましては、新型ゲーム機の発売により国内の家庭用ゲーム市場は回復の動きがみられ、スマートフォン向けゲームなどデジタル分野は引き続き伸長が見込まれます。VR（仮想現実）やAR（拡張現実）、AI（人工知能）といった先端技術を活用したゲームや、年々向上するスマートフォンの性能を活かしたゲームの登場などにより、更なる成長が期待されます。

このような経営環境下において、当社グループは、グループビジョン「世界No.1のエンタテインメント・コンテンツ・プロバイダー」のもと、更なる成長性と収益性の実現に向け挑戦を続けるとともに、「クオリティ&サティスファクション」を商品コンセプトに、高い品質によってお客様に大きな満足を提供してまいります。グループ経営方針として「IPの創造と展開」を掲げ、新しい柱となる新規IPの創出やスマートフォンゲームでの大ヒット、国内外での大型コラボレーションの実現を目指してまいります。

平成29年4月1日付で既存の5ブランドに加えて、新ブランド「midas（ミダス）」を設立いたしました。デジタルネイティブ世代である若手社員が主力となりスマートフォン市場において自由闊達なアイデアでヒット作を生み出し、新規IPの創発に取り組んでまいります。

エンタテインメント事業では、主力シリーズタイトルを発売するほか、パッケージゲーム・スマートフォンゲームにおいて、国内外で大型コラボレーションに取り組んでまいります。

「シブサワ・コウ」ブランドでは、シリーズ最新作『信長の野望・大志』にてAIを大幅に強化し、最高の歴史シミュレーションゲームを目指してまいります。

「ω-Force」ブランドでは、開発チーム「ω-Force」の立ち上げから20周年の節目の年を迎え、「無双」シリーズの最新作『真・三國無双8』等のリリースを予定しております。

「Team NINJA」ブランドでは、対戦ゲームとアクションゲームのNo.1ブランドを目指し、任天堂株式会社の「ファイアーエムブレム」と当社の「無双」シリーズとのコラボレーションタイトル『ファイアーエムブレム無双』（Nintendo Switch、Newニンテンドー3DS用）の発売を予定しております。

「ガスト」ブランドでは東映アニメーション株式会社とのコラボレーションによる、アニメとゲームが融合したスマートフォン用アプリ『拡張少女系

トライナリー』の配信や、発売から20周年を迎える「アトリエ」シリーズの展開施策を積極的に進めます。

「ルビーパーティー」ブランドでは、「ネオロマンス」シリーズを拡充し、IPを活用したアニメ化やイベントなどのメディアミックス展開を一層強化してまいります。

新設の「midas (ミダス)」ブランドでは、新規スマートフォンゲームの開発に取り組んでまいります。

S P事業では、オリジナルタイトルの開発や社内外のIPとのコラボレーションに注力してまいります。また、著作権許諾や受託開発業務の拡充と開発ラインの効率化を推進してまいります。

アミューズメント施設運営事業では、キッズ施設の運営やプライズゲームを中心に既存店の売上・利益の向上に努めます。また国際的に特許出願中の五感に訴える多機能VR筐体『VR センス』は夏以降の発売を計画しております。

不動産事業では、当社グループが保有する不動産資産を有効活用するとともに、物件管理の向上とコストダウンを進めてまいります。

#### (5) 財産及び損益の状況の推移

区 分	第5期 (平成26年3月期)	第6期 (平成27年3月期)	第7期 (平成28年3月期)	第8期 (当連結会計年度) (平成29年3月期)
売 上 高 (百万円)	37,576	37,799	38,332	37,034
経 常 利 益 (百万円)	10,728	13,568	15,755	15,211
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	6,936	9,434	10,855	11,624
1株当たり 当期純利益(円)	66.55	90.29	103.27	110.46
総 資 産 (百万円)	100,622	115,216	110,925	119,461
純 資 産 (百万円)	88,788	100,672	98,706	106,516

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っております。第5期(平成26年3月期)の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。



## (6) 重要な親会社及び子会社の状況（平成29年3月31日現在）

### ① 親会社との関係

当社の親会社は株式会社光優ホールディングスであります。株式会社光優ホールディングスは、株式会社光優、株式会社リズムスター、株式会社シーインザサン、株式会社AKフォーチュン、株式会社MYプロパティ（これら5社を「吸収分割会社」と総称します。）との間において、吸収分割会社それぞれが所有する当社株式35,578,911株、4,240,740株、4,240,740株、1,651,923株及び1,651,922株（合計47,364,236株）のみを承継対象資産とした吸収分割の方法により承継し、その対価として同社の無議決権株式を吸収分割会社に割り当てる旨の吸収分割契約を締結し、各吸収分割の効力発生日である平成29年3月15日付で、当社株式を47,364,236株取得いたしました。

同社の当社に対する議決権比率は45.08%であります。同社と緊密な関係がある者が当社の議決権を有していることから親会社としております。当社と親会社との間に営業取引はありません。

なお、本件吸収分割により、株式会社光優は親会社に該当しないことになりました。

### ② 重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
株式会社コーエーテクモゲームス	9,090百万円	100.00%	パソコン・家庭用ゲームソフト等の企画・開発・販売、オンラインゲーム・モバイルコンテンツの企画・開発・運営、書籍・音楽ソフト・映像ソフト・グッズ等の企画・制作・販売、イベントの企画・運営、不動産事業
株式会社コーエーテクモウェブ	100百万円	100.00%	スロット・パチンコの液晶受託開発、アミューズメント施設の企画開発・運営・管理
株式会社コーエーテクモネット	110百万円	100.00%	パソコン・家庭用ゲームソフト等の流通・卸し・通信販売
KOEI TECMO AMERICA Corporation	2百万米ドル	100.00%	米国におけるパソコン・家庭用ゲームソフトの製造・販売
KOEI TECMO EUROPE LIMITED	24百万英ポンド	100.00%	欧州におけるパソコン・家庭用ゲームソフトの製造・販売、不動産事業

### ③ 事業年度末日における特定完全子会社の状況

会社名	住所	帳簿価額の合計額	当社の総資産額
株式会社コーエーテックモゲームス	神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号	62,429百万円	83,735百万円

### (7) 主要な事業内容（平成29年3月31日現在）

事業部門	主要製品・事業内容
エンタテインメント事業	エンタテインメントコンテンツの開発・販売
S P 事業	スロット・パチンコの液晶受託開発、関連ロイヤリティ収入
アミューズメント施設運営事業	アミューズメント施設の企画開発・運営・管理
不動産事業	賃貸用不動産の運用・管理
その他の事業	ベンチャーキャピタル事業等

### (8) 主要拠点等（平成29年3月31日現在）

- 当社本社 神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号
- 国内拠点 株式会社コーエーテックモゲームス(神奈川県横浜市港北区)  
株式会社コーエーテックモウェーブ(東京都千代田区)  
株式会社コーエーテックモネット(神奈川県横浜市港北区)  
CWS Brains株式会社(東京都千代田区)  
株式会社コーエーテックモキャピタル(神奈川県横浜市港北区)  
株式会社コーエーテックモリブ(神奈川県横浜市港北区)
- 海外拠点 KOEI TECMO AMERICA Corporation(アメリカ)  
KOEI TECMO EUROPE LIMITED(イギリス)  
台湾光荣特庫摩股份有限公司(台湾)  
天津光荣特庫摩軟件有限公司(中国)  
北京光荣特庫摩軟件有限公司(中国)  
KOEI TECMO SINGAPORE Pte. Ltd.(シンガポール)  
KOEI TECMO SOFTWARE VIETNAM CO., LTD.(ベトナム)

(9) 従業員の状況（平成29年3月31日現在）

① 企業集団の従業員の状況

事業部門	従業員数	
	社員数	臨時雇用者数
エンタテインメント事業	1,421名	139名
SP事業	46名	4名
アミューズメント施設運営事業	15名	100名
全社（共通）	172名	66名
合計	1,654名	309名

- (注) 1. 社員数は連結会社を含めた就業人数（連結会社外への出向者を除き、連結会社への出向者を含む）であります。また、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含む）は、当連結会計年度の平均人員を記載しております。
2. 全社（共通）として記載されている従業員数は、管理部門、不動産事業及びその他事業に所属している人員数であります。

② 当社の従業員の状況

従業員数		平均年齢	平均勤続年数
社員数	臨時雇用者数		
59名	20名	38.0歳	8.4年

- (注) 1. 社員数は就業人数（社外への出向者を除き、当社への出向者を含む）であります。また、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含む）は、当事業年度の平均人員を記載しております。
2. 平均年齢、平均勤続年数は社員について記載しております。
3. 平均勤続年数の算定にあたっては、当社グループからの転籍により当社で就業している社員については、各社における勤続年数を通算しております。

(10) 主要な借入先（平成29年3月31日現在）

該当事項はありません。

(11) 事業の譲渡、合併等企業再編行為等

該当事項はありません。

(12) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の株式に関する事項（平成29年3月31日現在）

- (1) 発行可能株式総数 350,000,000株  
 (2) 発行済株式の総数 107,723,374株  
 (3) 株主数 13,996名  
 (4) 大株主（上位11名）

株 主 名	持 株 数	持株比率
株 式 会 社 光 優 ホ ー ル デ ィ ン グ ス	47,364,236株	44.90%
環 境 科 学 株 式 会 社	7,803,583株	7.40%
EUROPEAN KOYU CORPORATION B.V.	6,876,000株	6.52%
日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信 託 銀 行 株 式 会 社（ 信 託 口 ）	4,728,800株	4.48%
日 本 ト ラ ス テ ィ ・ サ ー ビ ス 信 託 銀 行 株 式 会 社（ 信 託 口 ）	3,099,200株	2.94%
日 本 ト ラ ス テ ィ ・ サ ー ビ ス 信 託 銀 行 株 式 会 社（ 信 託 口 9 ）	2,596,100株	2.46%
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	2,324,400株	2.20%
襟 川 陽 一	2,264,706株	2.15%
襟 川 恵 子	2,192,046株	2.08%
襟 川 芽 衣	1,303,200株	1.24%
襟 川 亜 衣	1,303,200株	1.24%

(注) 1. 当社は、自己株式2,229,512株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

3. 平成27年9月24日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書（変更報告書）において、インバスコ・アセット・マネジメント株式会社が平成27年9月15日現在で6,564,500株を所有している旨が記載されているものの、当社として平成29年3月31日現在における実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

なお、当社は平成27年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の株式分割を行っておりますが、大量保有報告書（変更報告書）は平成27年10月1日より以前に公衆の縦覧に供されているため、分割前株式数にて報告を受けております。

### (5) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

### 3. 会社の新株予約権等に関する事項

(1) 当事業年度の末日において当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権の状況

① 平成26年6月25日開催の第5回定時株主総会決議及び同年9月1日開催の取締役会決議による新株予約権（第7回新株予約権）

・新株予約権の数

508個

・新株予約権の目的となる株式の種類及び数

普通株式 60,960株

・新株予約権の払込金額

金銭の払込みを要しないものとする。

・新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

1個当たり 176,160円（1株当たり1,468円）

・新株予約権を行使することができる期間

平成28年9月23日から平成31年9月20日まで

・新株予約権の行使の条件

ア. 新株予約権者は、権利行使時において、当社又は当社の関係会社の取締役、監査役若しくは従業員の地位にあることを要する。ただし、取締役が任期満了により退任した場合、又は従業員が定年により退職した場合、また、当社取締役会が正当な理由があると認めた場合はこの限りではない。

イ. 新株予約権者が死亡した場合は、相続人がこれを行行使することができる。かかる相続人による新株予約権の行使の条件は、下記「ウ。」の契約に定めるところによる。

ウ. その他権利行使の条件は、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権者との間で締結する「新株予約権割当契約」に定めるところによる。

・当社役員の保有状況

	新株予約権の数	目的となる株式の数	保有者数
取締役（社外取締役を除く）	506個	60,720株	7人
社外取締役	2個	240株	1人
監査役	—	—	—

② 平成28年6月22日開催の第7回定時株主総会決議及び同年9月5日開催の取締役会決議による新株予約権（第8回新株予約権）

・新株予約権の数

864個

・新株予約権の目的となる株式の種類及び数

普通株式 86,400株

・新株予約権の払込金額

金銭の払込みを要しないものとする。

・新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

1個当たり 200,100円（1株当たり2,001円）

・新株予約権を行使することができる期間

平成30年9月27日から平成33年9月24日まで

・新株予約権の行使の条件

ア. 新株予約権者は、権利行使時において、当社又は当社の関係会社の取締役、監査役若しくは従業員の地位にあることを要する。ただし、取締役、監査役が任期満了により退任した場合、又は従業員が定年により退職した場合、また、当社取締役会が正当な理由があると認めた場合はこの限りではない。

イ. 新株予約権者が死亡した場合は、相続人がこれを行使することができる。かかる相続人による新株予約権の行使の条件は、下記「ウ.」の契約に定めるところによる。

ウ. その他権利行使の条件は、取締役会決議に基づき、当社と新株予約権者との間で締結する「新株予約権割当契約」に定めるところによる。

・当社役員の保有状況

	新株予約権の数	目的となる株式の数	保有者数
取締役（社外取締役を除く）	724個	72,400株	7人
社外取締役	140個	14,000株	2人
監査役	—	—	—

(2) 当事業年度中に職務執行の対価として使用人等に交付した新株予約権の状況

平成28年6月22日開催の第7回定時株主総会決議及び同年9月5日開催の取締役会決議による新株予約権（第8回新株予約権）

- ・新株予約権の数  
7,468個
- ・新株予約権の目的となる株式の種類及び数  
普通株式 746,800株
- ・当社使用人等への交付状況

	新株予約権の数	目的となる株式の数	交付者数
当 社 使 用 人	465個	46,500株	17人
子会社の役員及び使用人	7,003個	700,300株	394人

- (注) 1. 新株予約権の払込金額、新株予約権の行使に際して出資される財産の価額、新株予約権を行使することができる期間、新株予約権の行使の条件については、上記(1)の②に記載のとおりであります。
2. 平成29年3月31日現在において交付時より新株予約権の数が137個減少しておりますが、減少の理由は退職によるものであります。

#### 4. 会社役員に関する事項

##### (1) 取締役及び監査役の氏名等（平成29年3月31日現在）

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役会長	襟川 恵子	株式会社光優ホールディングス代表取締役専務 株式会社コーエーテクモゲームス取締役名誉会長 KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director
代表取締役社長	襟川 陽一	株式会社光優ホールディングス代表取締役社長 株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役会長 (CEO) 株式会社コーエーテクモウェブ取締役 株式会社コーエーテクモネット取締役 KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director President and COO KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director President and COO
取締役	鯉沼 久史	株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役社長 (COO) KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director
取締役	阪口 一芳	株式会社コーエーテクモゲームス取締役 株式会社コーエーテクモウェブ代表取締役社長 株式会社コーエーテクモネット代表取締役社長
取締役	小林 伸太郎	株式会社コーエーテクモゲームス専務取締役 株式会社コーエーテクモネット代表取締役会長 KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director
取締役	襟川 芽衣	株式会社光優ホールディングス取締役 株式会社コーエーテクモゲームス取締役
取締役顧問	柿原 康晴	株式会社コーエーテクモゲームス取締役顧問
取締役（社外）	手嶋 雅夫	ティー・アンド・ティー株式会社代表取締役社長 パーセク株式会社代表取締役社長 株式会社ゼットン取締役（社外）
取締役（社外）	小林 宏	
常勤監査役	森島 悟	株式会社コーエーテクモゲームス監査役 株式会社コーエーテクモネット監査役
常勤監査役（社外）	木村 正樹	
監査役（社外）	山本 千臣	株式会社コーエーテクモウェブ監査役 山本千臣税理士事務所所長
監査役（社外）	北村 俊和	株式会社サンオータス監査役（社外）



- (注) 1. 当事業年度中における取締役及び監査役の地位、担当及び重要な兼職の異動はありません。
2. 当事業年度末日後の取締役及び監査役の地位、担当及び重要な兼職の異動は次のとおりであります。

取締役小林伸太郎氏は、平成29年4月1日付で株式会社コーエーテクモゲームス専務取締役、株式会社コーエーテクモネット代表取締役会長、KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director及びKOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Directorを退任いたしました。

3. 当社は、社外取締役である手嶋雅夫氏及び小林宏氏並びに社外監査役である木村正樹氏、山本千臣氏及び北村俊和氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
4. 常勤監査役森島悟氏は、株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）の財務経理部長を経験しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
5. 常勤監査役木村正樹氏は、昭和63年2月から平成27年5月まで株式会社横浜銀行において国際的な金融取引等に従事しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
6. 監査役山本千臣氏は、税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
7. 監査役北村俊和氏は、昭和51年4月から平成24年11月まで横浜銀行グループにおいて役職員として勤務しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
8. 代表取締役会長襟川恵子氏、代表取締役社長襟川陽一氏及び取締役襟川芽衣氏は、それぞれ、株式会社光優の代表取締役専務、代表取締役社長、常務取締役を兼職しておりますが、平成29年3月15日付で、株式会社光優は当社の親会社に該当しなくなったため、重要な兼職の状況に記載しておりません。

## (2) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等の額

区 分	支 払 人 員	支 払 額
取 締 役 (うち社外取締役)	9名 (2名)	531百万円 (14百万円)
監 査 役 (うち社外監査役)	4名 (3名)	23百万円 (14百万円)
合 計 (うち社外役員)	13名 (5名)	554百万円 (29百万円)

- (注) 1. 使用人兼務取締役はおりません。
2. 取締役の報酬限度額は、平成26年6月25日開催の第5回定時株主総会において、年額600百万円以内(うち社外取締役分50百万円以内。ただし、使用人分の給与は含まない)と決議いただいております。
3. 上記2. の報酬限度額と別枠で、取締役のストック・オプション報酬額として、下記のとおり決議いただいております。
- (1) 平成26年6月25日開催の第5回定時株主総会  
割当日における新株予約権1個当たりの公正価額(割当日において適用すべき諸条件を基にブラック・ショールズ・モデルを用いて算定)に、割当日において在任する取締役に割り当てる新株予約権(800個を上限)を乗じた額を付与する旨
- (2) 平成28年6月22日開催の第7回定時株主総会  
割当日における新株予約権1個当たりの公正価額(割当日において適用すべき諸条件を基にブラック・ショールズ・モデルを用いて算定)に、割当日において在任する取締役に割り当てる新株予約権(1,000個を上限)を乗じた額を付与する旨
4. 監査役の報酬限度額は、平成26年6月25日開催の第5回定時株主総会において、年額50百万円以内と決議いただいております。

### (3) 社外役員に関する事項

#### ① 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

- ・取締役手嶋雅夫氏は、ティー・アンド・ティー株式会社の代表取締役社長、パーセク株式会社の代表取締役社長及び株式会社ゼットンの社外取締役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・監査役山本千臣氏は、当社連結子会社である株式会社コーエーテクモウェアの監査役であります。また、山本千臣税理士事務所の所長であります。当社と同事務所との間には特別の関係はありません。
- ・監査役北村俊和氏は、株式会社サンオータスの社外監査役であります。当社と同社との間には特別の関係はありません。

#### ② 当事業年度における主な活動状況

地位	氏名	活動状況
取締役	手嶋雅夫	当事業年度に開催された取締役会37回のうち34回に出席いたしました。数々の事業を立ち上げ、要職を歴任してこられた経営者としての豊富な経験と幅広い知識に基づき、適宜、必要な発言を行っております。
取締役	小林宏	当事業年度に開催された取締役会37回すべてに出席いたしました。長年にわたりエンタテインメント業界において要職を歴任してこられた経営者としての豊富な経験と幅広い知識に基づき、適宜、必要な発言を行っております。
監査役	木村正樹	当事業年度に開催された取締役会37回、監査役会7回すべてに出席いたしました。長年にわたり金融機関において国際的な金融取引等に携わられた豊富な経験と専門的な知識に基づき、適宜、必要な発言を行っております。
監査役	山本千臣	当事業年度に開催された取締役会37回のうち36回、監査役会7回すべてに出席いたしました。税理士としての専門的見地から、適宜、必要な発言を行っております。
監査役	北村俊和	当事業年度に開催された取締役会37回、監査役会7回すべてに出席いたしました。長年にわたる金融機関における役員としての豊富な経験と幅広い知識に基づき、適宜、必要な発言を行っております。

## 5. 会計監査人の状況

### (1) 会計監査人の名称

有限責任 あずさ監査法人

### (2) 会計監査人の報酬等の額

	支 払 額
当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額	43百万円
当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	73百万円

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査役会は、取締役、社内関係部門等及び会計監査人から必要な資料を入手しかつ報告を受け、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務執行状況及び報酬見積りの算出根拠などについて確認し、審議した結果、これらについて適切であると判断したため、会計監査人の報酬等の額について同意しております。
3. 当社の重要な子会社のうち、KOEI TECMO EUROPE LIMITEDについては、当社の会計監査人以外の監査法人（外国におけるこれらの資格に相当する資格を有する者を含む）の監査を受けております。

### (3) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

## 6. 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

当社は、会社法及び会社法施行規則に基づき、取締役会において、業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の整備方針を次のとおり決議しております。その内容及び運用状況は以下のとおりです。

### (1) 当社グループの役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- ① 当社グループ各社の取締役会は取締役会規程、職務権限規程等の職務の執行に関する社内規程を制定し、当社グループの役職員は定められた社内規程に従い、業務を執行する。
- ② 当社の代表取締役は経営理念、コンプライアンス方針を制定することにより、当社グループの社会的責任を明確にし、それを当社グループの役職員に伝えることにより、法令遵守及び社会倫理遵守を企業活動の前提とすることを徹底する。
- ③ 当社グループの役職員が法令及び定款その他社内諸規程遵守のもと職務を遂行するため、当社においてコンプライアンス担当取締役を任命し、また、当社においてコンプライアンス委員会を設置することで、当社グループの横断的なコンプライアンス体制の整備及び問題点の把握に努める。
- ④ 当社グループの役職員がコンプライアンス上の問題を発見した場合は速やかに当社のコンプライアンス担当取締役に報告する体制を構築する。

#### 【運用状況】

- ・当社グループの役職員は、当社グループ各社の取締役会の定める社内規程に従い、業務を執行しております。
- ・当社の代表取締役は経営理念、コンプライアンスグループ規程を制定し、当社グループの役職員に周知徹底しております。
- ・当社の代表取締役をコンプライアンス担当取締役として任命するとともに、コンプライアンス委員会を設置しております。
- ・コンプライアンス担当取締役、コンプライアンス委員会事務局、監査役及び外部弁護士事務所への通報窓口を設置し、当社グループの役職員がコンプライアンス上の問題を発見した場合に速やかに当社のコンプライアンス担当取締役に報告する体制を構築しております。

## (2) 当社の取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

- ① 当社の取締役の職務の執行に係る情報については文書管理グループ規程に従い、職務執行に係る情報を文書又は電磁的媒体に記録し、保存する。
- ② 当社の取締役及び監査役は文書管理グループ規程により、これらの文書等を常時閲覧できるものとする。

### 【運用状況】

- ・文書管理グループ規程に従い、取締役会議事録等の当社の取締役の職務の執行に係る情報について文書又は電磁的媒体に記録し保存するとともに、当社の取締役及び監査役がこれらの文書等を常時閲覧できる環境を整えております。

## (3) 当社グループの損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- ① 当社のコンプライアンス担当取締役をリスク管理の統括責任者として任命し、また、当社においてリスク管理委員会を設置し、当社グループの一元的なリスクの管理を行うことで、関係部門間での情報共有、相互協力、的確な判断及び迅速な対応に努める。
- ② 個々のリスクについては、各業務におけるリスクカテゴリーごとの責任部門を定め、部門ごとにリスク対応策の検討、研修の実施、マニュアルの作成等を行うものとする。

### 【運用状況】

- ・当社においてリスク管理委員会を設置し、当社グループの一元的なリスク管理を行っております。
- ・個々のリスクについて、各業務における責任部門がリスク対応策の検討、研修の実施、マニュアルの作成等を行っております。

## (4) 当社グループ各社の取締役等の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- ① 社内規程（職務権限規程等）により、職務権限・意思決定のルールを策定する。
- ② 当社の取締役会による経営計画の策定、経営計画に基づく事業会社ごとの業績目標・予算の設定と月次・四半期業績管理を実施する。

### 【運用状況】

- ・取締役会規程や職務権限規程等の社内規程により、職務権限・意思決定のルールを策定しております。
- ・当社の取締役会は、経営計画を策定するとともに、事業会社ごとの業績目標・予算を設定し、月次・四半期業績管理を実施しております。

**(5) 当社の子会社の取締役等の職務の執行に係る当社への報告に関する体制**

当社は、関係会社管理規程を定め、当社の子会社の取締役等が、その職務の執行に係る事項について、当社の取締役会への報告を行い、また、重要な事項について、当社の取締役会の承認を求めるための体制を構築する。

**【運用状況】**

・当社は、関係会社管理規程を定め、上記体制を構築し運用しております。

**(6) 当社グループにおける業務の適正を確保するための体制**

① 内部統制委員会は、必要な当社グループ各社への指導・支援を実施する。また、当社に内部統制担当部門を設置し、グループ全体の業務の適正を確保するための体制を構築する。

② コンプライアンス委員会及びリスク管理委員会は、必要な当社グループ各社への指導・支援を実施する。また、当社にコンプライアンス統括部門及びリスク管理統括部門を設置し、グループ全体の業務の適正を確保するための体制を構築する。

③ 当社の内部監査部門は、当社グループ各社の内部監査を実施し、その結果を担当部門及び当社グループ各社の責任者に報告し、当社の担当部門は必要に応じて、内部統制の改善策の指導、実施の支援・助言を行う。

**【運用状況】**

・当社の財務部が、内部統制担当部門として、内部統制委員会の事務局を担当し、必要に応じて当社グループ各社への指導・支援を実施しております。

・当社の総務部が、コンプライアンス統括部門及びリスク管理統括部門として、コンプライアンス委員会及びリスク管理委員会の事務局を担当し、必要に応じて当社グループ各社への指導・支援を実施しております。

・当社の監査部が、内部監査部門として、当社グループ各社の内部監査の実施、その結果の報告、内部統制の改善策の指導、実施の支援・助言を行っております。

**(7) 当社の監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項、当該使用人の当社の取締役からの独立性に関する事項及び当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項**

① 当社の監査役が必要とした場合、その職務を補助する使用人を置くものとする。

② 当社の監査役会は監査役に属する使用人の人事異動について、事前に当社の取締役より報告を受けるとともに、必要性がある場合には、理由を付して当該人事異動につき変更を当社の取締役に申し入れることができるものとする。

#### 【運用状況】

- ・当社の総務部に、当社の監査役の職務を補助する使用人を置いております。上記方針に基づき、当該使用人の当社の取締役からの独立性及び当該使用人に対する指示の実効性を確保しております。

#### (8) 当社グループの役職員が当社の監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制

- ① 当社グループ各社の取締役等は当社の監査役が出席する取締役会等の重要な会議において担当する業務の執行状況を報告する。
- ② 当社グループの役職員は当社の監査役に対して、法定事項に加え、当社グループに重大な影響を及ぼす事実を発見した場合は、直接又は当社グループの役職員等への報告を通じて、その内容を速やかに報告する。
- ③ 当社の監査役はいつでも当社グループ各社に報告を求めることができるものとする。

#### 【運用状況】

- ・当社グループ各社の取締役等は、当社の取締役会及びグループ経営会議において、担当する業務の執行状況を報告しております。
- ・当社の監査役は、当社の取締役会及びグループ経営会議に出席しており、当社グループの役職員が当社の監査役に対して速やかに報告を行い、また、当社の監査役がいつでも当社グループ各社に報告を求めることができる体制を整えております。

#### (9) 当社の監査役へ報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制

当社は、当社の監査役へ報告を行った当社グループの役職員に対し、当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを行うことを禁止し、その旨を当社グループの役職員に周知徹底する。

#### 【運用状況】

- ・当社は、上記体制を構築し運用するとともに、当社グループの役職員に周知徹底しております。

#### (10) 当社の監査役職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項

当社は、当社の監査役がその職務の執行について、当社に対し、法令に基づく費用の前払等の請求をしたときは、当該請求に係る費用又は債務が当該監査役の職務の執行に必要なと認められた場合を除き、速やかに当該費用又は債務を処理する。



**【運用状況】**

- ・上記方針に基づき、当該費用又は債務を処理しております。

**(11) その他当社の監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制**

当社の監査役は、必要に応じて独自に弁護士、会計士等の専門家を活用し、監査業務に関する助言を受ける機会を保障される。

**【運用状況】**

- ・当社は、当社の監査役が監査業務に関する助言を受ける機会を保障しております。

**(12) 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況**

当社グループは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に対して、会社組織として毅然とした姿勢で臨み、不当、不法な要求に応じないことはもちろん、一切の関係を遮断するよう取り組む。社内体制としては、当社の総務部を対応統括部門として定め、警察当局、関係団体、弁護士等と連携し、反社会的勢力及び団体に関する情報を収集し、組織的な対応が可能な体制を構築する。

**【運用状況】**

- ・上記体制を構築し運用しております。

~~~~~  
(注) 本事業報告中に記載の金額及び株式数は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。また、比率等は表示桁未満の端数を四捨五入して表示しております。

# 連結貸借対照表

(平成29年 3月31日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部              |                | 負 債 の 部              |                |
|----------------------|----------------|----------------------|----------------|
| 科 目                  | 金 額            | 科 目                  | 金 額            |
| <b>流 動 資 産</b>       | <b>26,689</b>  | <b>流 動 負 債</b>       | <b>11,460</b>  |
| 現金及び預金               | 11,868         | 支払手形及び買掛金            | 487            |
| 受取手形及び売掛金            | 8,168          | 未払金                  | 4,244          |
| 有価証券                 | 1,871          | 未払法人税等               | 2,566          |
| 商品及び製品               | 96             | 賞与引当金                | 949            |
| 仕掛品                  | 4              | 役員賞与引当金              | 242            |
| 原材料及び貯蔵品             | 42             | 返品調整引当金              | 0              |
| 繰延税金資産               | 939            | 売上値引引当金              | 255            |
| その他流動資産              | 3,721          | ポイント引当金              | 21             |
| 貸倒引当金                | △23            | 繰延税金負債               | 0              |
| <b>固 定 資 産</b>       | <b>92,772</b>  | その他流動負債              | 2,691          |
| <b>有 形 固 定 資 産</b>   | <b>26,126</b>  | <b>固 定 負 債</b>       | <b>1,484</b>   |
| 建物及び構築物              | 10,993         | 退職給付に係る負債            | 295            |
| 土地                   | 14,615         | 繰延税金負債               | 326            |
| その他有形固定資産            | 517            | その他固定負債              | 861            |
| <b>無 形 固 定 資 産</b>   | <b>208</b>     | <b>負 債 合 計</b>       | <b>12,944</b>  |
| その他無形固定資産            | 208            | <b>純 資 産 の 部</b>     |                |
| <b>投 資 其 他 の 資 産</b> | <b>66,436</b>  | <b>株 主 資 本</b>       | <b>105,639</b> |
| 投資有価証券               | 65,484         | 資本金                  | 15,000         |
| 繰延税金資産               | 142            | 資本剰余金                | 25,937         |
| その他投資                | 809            | 利益剰余金                | 66,159         |
| <b>資 産 合 計</b>       | <b>119,461</b> | <b>自 己 株 式</b>       | <b>△1,456</b>  |
|                      |                | <b>その他の包括利益累計額</b>   | <b>622</b>     |
|                      |                | その他有価証券評価差額金         | 3,130          |
|                      |                | 土地再評価差額金             | △3,115         |
|                      |                | 為替換算調整勘定             | 697            |
|                      |                | 退職給付に係る調整累計額         | △90            |
|                      |                | <b>新 株 予 約 権</b>     | <b>254</b>     |
|                      |                | <b>純 資 産 合 計</b>     | <b>106,516</b> |
|                      |                | <b>負 債 純 資 産 合 計</b> | <b>119,461</b> |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

( 自 平成28年4月1日 )  
( 至 平成29年3月31日 )

(単位：百万円)

| 科 目                           | 金 額   |        |
|-------------------------------|-------|--------|
| 売 上 高                         |       | 37,034 |
| 売 上 原 価                       |       | 19,823 |
| 売 上 総 利 益                     |       | 17,211 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費           |       | 8,429  |
| 営 業 利 益                       |       | 8,781  |
| 営 業 外 収 益                     |       |        |
| 受 取 利 息                       | 1,797 |        |
| 受 取 配 当 金                     | 1,349 |        |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 益             | 3,848 |        |
| 有 価 証 券 償 還 益                 | 168   |        |
| そ の 他                         | 325   | 7,488  |
| 営 業 外 費 用                     |       |        |
| 投 資 有 価 証 券 評 価 損             | 378   |        |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 損             | 255   |        |
| 有 価 証 券 償 還 損                 | 33    |        |
| 為 替 差 損                       | 355   |        |
| そ の 他                         | 36    | 1,058  |
| 経 常 利 益                       |       | 15,211 |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益         |       | 15,211 |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税         | 3,681 |        |
| 法 人 税 等 調 整 額                 | △94   | 3,587  |
| 当 期 純 利 益                     |       | 11,624 |
| 親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 |       | 11,624 |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

（ 自 平成28年 4月 1日 ）  
（ 至 平成29年 3月 31日 ）

（単位：百万円）

|                              | 株 主 資 本 |        |        |         |         |
|------------------------------|---------|--------|--------|---------|---------|
|                              | 資 本 金   | 資本剰余金  | 利益剰余金  | 自 己 株 式 | 株主資本合計  |
| 当連結会計年度期首残高                  | 15,000  | 25,699 | 60,003 | △1,657  | 99,045  |
| 当連結会計年度変動額                   |         |        |        |         |         |
| 剰 余 金 の 配 当                  |         |        | △5,469 |         | △5,469  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益          |         |        | 11,624 |         | 11,624  |
| 自己株式の取得                      |         |        |        | △6      | △6      |
| 自己株式の処分                      |         | 238    |        | 207     | 445     |
| 株主資本以外の項目の当連結<br>会計年度変動額（純額） |         |        |        |         |         |
| 当連結会計年度変動額合計                 | －       | 238    | 6,155  | 200     | 6,594   |
| 当連結会計年度末残高                   | 15,000  | 25,937 | 66,159 | △1,456  | 105,639 |

|                              | そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額  |                    |                    |                            |                              | 新株予約権 | 純資産合計   |
|------------------------------|------------------------|--------------------|--------------------|----------------------------|------------------------------|-------|---------|
|                              | そ の 他<br>有価証券<br>評価差額金 | 土 地 再 評 価<br>差 額 金 | 為 替 換 算<br>調 整 勘 定 | 退 職 給 付 に 係<br>る 調 整 累 計 額 | そ の 他 の 包 括<br>利 益 累 計 額 合 計 |       |         |
| 当連結会計年度期首残高                  | 1,009                  | △3,115             | 1,636              | △54                        | △523                         | 184   | 98,706  |
| 当連結会計年度変動額                   |                        |                    |                    |                            |                              |       |         |
| 剰 余 金 の 配 当                  |                        |                    |                    |                            |                              |       | △5,469  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益          |                        |                    |                    |                            |                              |       | 11,624  |
| 自己株式の取得                      |                        |                    |                    |                            |                              |       | △6      |
| 自己株式の処分                      |                        |                    |                    |                            |                              |       | 445     |
| 株主資本以外の項目の当連結<br>会計年度変動額（純額） | 2,121                  | －                  | △939               | △35                        | 1,146                        | 69    | 1,216   |
| 当連結会計年度変動額合計                 | 2,121                  | －                  | △939               | △35                        | 1,146                        | 69    | 7,810   |
| 当連結会計年度末残高                   | 3,130                  | △3,115             | 697                | △90                        | 622                          | 254   | 106,516 |

（注）金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部            |        | 負 債 の 部              |        |
|--------------------|--------|----------------------|--------|
| 科 目                | 金 額    | 科 目                  | 金 額    |
| <b>流 動 資 産</b>     | 11,017 | <b>流 動 負 債</b>       | 469    |
| 現金及び預金             | 1,192  | 未払金                  | 52     |
| 原材料及び貯蔵品           | 1      | 未払費用                 | 25     |
| 前払費用               | 12     | 未払法人税等               | 59     |
| 関係会社短期貸付金          | 8,624  | 未払消費税等               | 13     |
| 未収還付法人税等           | 1,150  | 賞与引当金                | 37     |
| 繰延税金資産             | 24     | 役員賞与引当金              | 237    |
| その他流動資産            | 12     | その他流動負債              | 44     |
| <b>固 定 資 産</b>     | 72,717 | <b>固 定 負 債</b>       | 60     |
| <b>有 形 固 定 資 産</b> | 3      | 退職給付引当金              | 9      |
| 建物                 | 0      | 繰延税金負債               | 48     |
| 工具、器具及び備品          | 2      | その他固定負債              | 2      |
| その他有形固定資産          | 0      | <b>負 債 合 計</b>       | 530    |
| <b>無 形 固 定 資 産</b> | 14     | <b>純 資 産 の 部</b>     |        |
| 商標権                | 0      | <b>株 主 資 本</b>       | 82,951 |
| ソフトウェア             | 13     | 資本金                  | 15,000 |
| <b>投資その他の資産</b>    | 72,700 | 資本剰余金                | 57,005 |
| 投資有価証券             | 31     | 資本準備金                | 56,766 |
| 関係会社株式             | 72,029 | その他資本剰余金             | 238    |
| 関係会社長期貸付金          | 603    | <b>利 益 剰 余 金</b>     | 12,402 |
| その他投資              | 35     | その他利益剰余金             | 12,402 |
| <b>資 産 合 計</b>     | 83,735 | 繰越利益剰余金              | 12,402 |
|                    |        | <b>自 己 株 式</b>       | △1,456 |
|                    |        | <b>新 株 予 約 権</b>     | 254    |
|                    |        | <b>純 資 産 合 計</b>     | 83,205 |
|                    |        | <b>負 債 純 資 産 合 計</b> | 83,735 |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

( 自 平成28年 4 月 1 日 )  
( 至 平成29年 3 月 31 日 )

(単位：百万円)

| 科 目             | 金 額   |       |
|-----------------|-------|-------|
| 营 業 収 益         |       |       |
| 関係会社受取配当金       | 6,653 |       |
| 業務受託収入          | 1,756 | 8,410 |
| 販売費及び一般管理費      |       | 1,654 |
| 营 業 利 益         |       | 6,755 |
| 营 業 外 収 益       |       |       |
| 受 取 利 息         | 17    |       |
| 投資有価証券売却益       | 67    |       |
| そ の 他           | 10    | 94    |
| 营 業 外 費 用       |       |       |
| そ の 他           | 1     | 1     |
| 経 常 利 益         |       | 6,848 |
| 税 引 前 当 期 純 利 益 |       | 6,848 |
| 法人税、住民税及び事業税    | 166   |       |
| 法人税等調整額         | 13    | 180   |
| 当 期 純 利 益       |       | 6,667 |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書

( 自 平成28年 4月 1日 )  
( 至 平成29年 3月 31日 )

(単位：百万円)

|                         | 株 主 資 本 |             |        |                            |                       |                       |                |                | 自己株式   | 株主資本計<br>合 |
|-------------------------|---------|-------------|--------|----------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------|----------------|--------|------------|
|                         | 資本金     | 資 本 剰 余 金   |        |                            | 利 益 剰 余 金             |                       | 利 益 計<br>剰 余 金 | 利 益 計<br>剰 余 金 |        |            |
|                         |         | 資<br>準<br>備 | 本<br>金 | そ<br>の<br>他<br>剰<br>余<br>金 | 資<br>剰<br>余<br>金<br>計 | 繰<br>越<br>剰<br>余<br>金 |                |                |        |            |
| 当 期 首 残 高               | 15,000  | 56,766      | —      | 56,766                     | 11,204                | 11,204                |                | △1,657         | 81,313 |            |
| 当 期 変 動 額               |         |             |        |                            |                       |                       |                |                |        |            |
| 剰 余 金 の 配 当             |         |             |        |                            | △5,469                | △5,469                |                |                | △5,469 |            |
| 当 期 純 利 益               |         |             |        |                            | 6,667                 | 6,667                 |                |                | 6,667  |            |
| 自 己 株 式 の 取 得           |         |             |        |                            |                       |                       |                | △6             | △6     |            |
| 自 己 株 式 の 処 分           |         |             | 238    | 238                        |                       |                       |                | 207            | 445    |            |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |         |             |        |                            |                       |                       |                |                |        |            |
| 当 期 変 動 額 合 計           | —       | —           | 238    | 238                        | 1,198                 | 1,198                 |                | 200            | 1,637  |            |
| 当 期 末 残 高               | 15,000  | 56,766      | 238    | 57,005                     | 12,402                | 12,402                |                | △1,456         | 82,951 |            |

|                         | 評価・換算<br>差額等                  | 新 予 約 株 権 | 純 資 産 計 |
|-------------------------|-------------------------------|-----------|---------|
|                         | そ の 他<br>有 価 証 券<br>評 価 差 額 金 |           |         |
| 当 期 首 残 高               | 5                             | 184       | 81,503  |
| 当 期 変 動 額               |                               |           |         |
| 剰 余 金 の 配 当             |                               |           | △5,469  |
| 当 期 純 利 益               |                               |           | 6,667   |
| 自 己 株 式 の 取 得           |                               |           | △6      |
| 自 己 株 式 の 処 分           |                               |           | 445     |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | △5                            | 69        | 64      |
| 当 期 変 動 額 合 計           | △5                            | 69        | 1,702   |
| 当 期 末 残 高               | —                             | 254       | 83,205  |

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結計算書類に係る会計監査人の会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成29年5月17日

株式会社コーエーテックモホールディングス

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 中 嶋 歩 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 越 智 一 成 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社コーエーテックモホールディングスの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。



監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社コーエーテクモホールディングス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 計算書類に係る会計監査人の会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成29年5月17日

株式会社コーエーテックモホールディングス  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 中 嶋 歩 ㊞  
指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 越 智 一 成 ㊞

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社コーエーテックモホールディングスの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第8期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第8期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

(1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

(2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。

① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。

② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。

③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に

関する品質管理基準」(平成17年10月28日企業会計審議会)等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書並びに連結計算書類(連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表)について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成29年 5月22日

株式会社コーエーテクモホールディングス 監査役会

|               |         |   |
|---------------|---------|---|
| 常勤監査役         | 森 島 悟   | Ⓢ |
| 常勤監査役 (社外監査役) | 木 村 正 樹 | Ⓢ |
| 社外監査役         | 山 本 千 臣 | Ⓢ |
| 社外監査役         | 北 村 俊 和 | Ⓢ |

以 上

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要政策の一つとして位置付けており、利益還元の基本方針としては、「配当金に自社株買付けを加えた連結年間総配分性向50%、あるいは1株当たり年間配当50円」としております。

上記の基本方針に基づき、当期の期末配当につきましては、当期の業績を勘案いたしまして、以下のとおりといたしたいと存じます。

1. 配当財産の種類

金銭といたします。

2. 配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき連結年間総配分性向50%にあたる金56円といたします。

なお、この場合の配当総額は5,907,656,272円となります。

3. 剰余金の配当が効力を生じる日

平成29年6月22日といたします。

## 第2号議案 定款一部変更の件

### 1. 提案の理由

取締役の経営責任を明確にし、経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制とするため、取締役の任期を2年から1年に短縮することとし、現行定款第21条（任期）につき、所要の変更を行うものであります。

### 2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

（下線部分に変更箇所を示しております。）

| 現 行 定 款                                                                                                                                        | 変 更 案                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| (任 期)<br>第21条 <u>1. 取締役の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとする。</u><br><u>2. 補欠又は増員で選任された取締役の任期は、退任した取締役又は他の在任取締役の任期の満了する時までとする。</u> | (任 期)<br>第21条 取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとする。<br>(削 除) |

### 第3号議案 取締役8名選任の件

取締役全員（9名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役8名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号                                                                                                                                                                                                                                                                 | ふりがな氏名<br>(生年月日)                 | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 所有する当社の株式数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                     | えりかわ けいこ<br>襟川 恵子<br>(昭和24年1月3日) | 昭和53年7月 株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）専務取締役<br>平成4年6月 同社代表取締役副社長<br>平成11年4月 同社代表取締役社長<br>平成12年6月 株式会社コーエーネット（現株式会社コーエーテクモネット）取締役副会長<br>平成13年6月 株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）代表取締役会長<br>株式会社コーエーネット（現株式会社コーエーテクモネット）取締役会長<br>KOEI Corporation（現KOEI TECMO AMERICA Corporation）Board Director Chairman and CEO<br>平成17年6月 株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）ファウンダー取締役会長<br>平成18年4月 同社ファウンダー取締役名誉会長<br>株式会社コーエーネット（現株式会社コーエーテクモネット）取締役名誉会長<br>平成21年4月 当社取締役<br>平成21年6月 当社取締役名誉会長<br>平成23年1月 株式会社コーエーテクモゲームス取締役名誉会長<br>株式会社コーエーテクモウェブ取締役名誉会長<br>株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役会長<br>当社代表取締役会長（現任）<br>平成26年6月 TECMO KOEI EUROPE LIMITED（現KOEI TECMO EUROPE LIMITED）Board Director（現任）<br>平成27年4月 株式会社コーエーテクモゲームス取締役名誉会長（現任）<br>平成27年11月 株式会社光優ホールディングス代表取締役専務（現任）<br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社光優ホールディングス代表取締役専務<br>株式会社コーエーテクモゲームス取締役名誉会長<br>KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director | 2,192,046株 |
| <b>【取締役候補者とした理由】</b><br>襟川恵子氏は、株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）の創業以来、経営者、ファイナンスの責任者として、会社の発展及び経営基盤の強化に努めてきました。また、様々な業界団体を通じてゲーム業界全体の地位向上及び発展に尽力したことにより、「平成27年秋の褒章」において、藍綬褒章を受章しました。<br>女性経営者としての独自の視点及び豊富な経営経験を有しており、当社の発展及び更なる企業価値向上に不可欠であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。 |                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |



| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                              | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 所有する当<br>社の株式数 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 襟川陽一<br><small>ねりかわ よういち</small><br>(昭和25年10月26日) | <p>昭和53年7月 株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）設立 代表取締役社長</p> <p>平成11年4月 同社代表取締役会長</p> <p>平成13年6月 同社取締役最高顧問</p> <p>平成17年6月 同社ファウンダー取締役最高顧問</p> <p>平成21年4月 当社取締役</p> <p>平成21年6月 当社取締役最高顧問</p> <p>平成22年11月 当社代表取締役社長（現任）</p> <p>株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役社長<br/>株式会社コーエーテクモウェブ取締役（現任）<br/>株式会社コーエーテクモネット取締役（現任）<br/>TECMO KOEI AMERICA Corporation（現<br/>KOEI TECMO AMERICA Corporation）<br/>Board Director President and COO<br/>（現任）</p> <p>平成22年12月 TECMO KOEI EUROPE LIMITED（現KOEI<br/>TECMO EUROPE LIMITED）Board<br/>Director President and COO（現任）</p> <p>平成27年4月 株式会社コーエーテクモゲームス代表<br/>取締役会長（CEO）（現任）</p> <p>平成27年11月 株式会社光優ホールディングス代表取<br/>締役社長（現任）</p> <p>（重要な兼職の状況）</p> <p>株式会社光優ホールディングス代表取締役社長<br/>株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役会長（CEO）<br/>株式会社コーエーテクモウェブ取締役<br/>株式会社コーエーテクモネット取締役<br/>KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director<br/>President and COO<br/>KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director<br/>President and COO</p> | 2,264,706株     |
| <p>【取締役候補者とした理由】</p> <p>襟川陽一氏は、株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）の創業以来、経営者として強いリーダーシップを発揮し、会社の発展を牽引してきました。また、ゲームプロデューサー シブサワ・コウとして「信長の野望」、「三国志」をはじめとした当社グループを代表するゲームを多数生み出し、エンタテインメント企業としての当社の企業価値向上に努めてきました。豊富な経営経験を有する経営者及び卓越したゲームプロデューサーであることから、当社の発展及び更なる企業価値向上に不可欠であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p> |                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                                                         | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)            | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 所有する当<br>社の株式数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                 | こいぬまひさし<br>鯉沼久史<br>(昭和46年10月2日) | <p>平成6年4月 株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）入社</p> <p>平成18年4月 同社執行役員</p> <p>平成20年7月 同社常務執行役員</p> <p>平成21年6月 当社執行役員<br/>テクモ株式会社執行役員</p> <p>平成22年4月 株式会社コーエーテクモゲームス常務執行役員</p> <p>平成23年4月 同社専務取締役</p> <p>平成24年6月 当社取締役（現任）</p> <p>平成25年6月 株式会社コーエーテクモゲームス取締役副社長</p> <p>平成27年4月 同社代表取締役社長（COO）（現任）<br/>KOEI TECMO AMERICA Corporation<br/>Board Director（現任）<br/>KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board<br/>Director（現任）</p> <p>（重要な兼職の状況）<br/>株式会社コーエーテクモゲームス代表取締役社長（COO）<br/>KOEI TECMO AMERICA Corporation Board Director<br/>KOEI TECMO EUROPE LIMITED Board Director</p> | 15, 120株       |
| <p><b>【取締役候補者とした理由】</b></p> <p>鯉沼久史氏は、株式会社コーエー（現株式会社コーエーテクモゲームス）に入社以来、ゲーム開発者として現場経験を重ね、「無双シリーズ」をはじめとした当社グループを代表するゲームの開発や、他社IPとのコラボ作品の展開を通じ、当社グループのコア事業であるエンタテインメント事業を牽引してきました。</p> <p>ゲームコンテンツに関する豊富な経験及び業界への深い知見を有しており、当社の発展及び更なる企業価値向上に必要であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p> |                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                             | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                   | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 所有する当<br>社の株式数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 4                                                                                                                                                                                     | さか ぐち かず よし<br>阪 口 一 芳<br>(昭和33年2月20日) | 平成15年3月 テクモウェブ株式会社(現株式会社<br>コーエーテクモウェブ)取締役<br>平成15年6月 テクモ株式会社取締役<br>平成16年6月 同社常務取締役<br>テクモウェブ株式会社(現株式会社<br>コーエーテクモウェブ)常務取締役<br>平成17年4月 同社代表取締役専務<br>平成18年1月 同社代表取締役社長(現任)<br>平成20年11月 テクモ株式会社常務執行役員<br>平成21年1月 同社代表取締役社長<br>平成21年4月 当社取締役(現任)<br>株式会社コーエー(現株式会社コーエー<br>テクモゲームス)取締役(現任)<br>平成22年1月 TECMO KOEI AMERICA Corporation(現<br>KOEI TECMO AMERICA Corporation)<br>Board Director<br>平成22年4月 株式会社コーエーテクモネット取締役<br>TECMO KOEI EUROPE LIMITED(現KOEI<br>TECMO EUROPE LIMITED) Board<br>Director<br>平成25年4月 株式会社コーエーテクモネット代表取<br>締役社長(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社コーエーテクモゲームス取締役<br>株式会社コーエーテクモウェブ代表取締役社長<br>株式会社コーエーテクモネット代表取締役社長 | 22,920株        |
| <b>【取締役候補者とした理由】</b><br>阪口一芳氏は、当社グループ各社の要職を歴任し、経営の経験・実績を重ねるとともに、アミューズメント施設運営事業、SP事業やゲームソフトの拡販事業に従事してきました。<br>経営者として複数の事業に従事した豊富な経験を有しており、当社の事業拡大に必要であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。 |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                  | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)              | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                              | 所有する当<br>社の株式数 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 5                                                                                                                                                                                                                          | えりかわめい<br>襟川芽衣<br>(昭和51年4月30日)    | 平成22年6月 株式会社コーエーテックモゲームス監査役<br>平成25年7月 同社取締役(現任)<br>平成27年6月 当社取締役(現任)<br>平成27年11月 株式会社光優ホールディングス取締役<br>(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社光優ホールディングス取締役<br>株式会社コーエーテックモゲームス取締役                                                                                                                      | 1,303,200株     |
| <p><b>【取締役候補者とした理由】</b><br/> 襟川芽衣氏は、当社及び株式会社コーエーテックモゲームスの取締役として経営の経験を重ねるとともに、女性をメインターゲットとしたゲーム開発及びイベント企画・運営の責任者として、IPの多方面展開に努めてきました。<br/> 女性ならではの視点から、当社の事業拡大及び当社グループの女性活躍を推進するために必要であると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p> |                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |
| 6                                                                                                                                                                                                                          | かきはらやすはる<br>柿原康晴<br>(昭和45年12月30日) | 平成13年6月 テクモ株式会社監査役<br>平成16年6月 同社取締役<br>平成18年3月 テクモウェブ株式会社(現株式会社コーエーテックモウェブ)取締役<br>平成19年3月 テクモ株式会社代表取締役会長<br>平成20年9月 同社代表取締役会長兼社長<br>平成21年1月 同社代表取締役会長<br>平成21年4月 当社代表取締役会長<br>平成23年4月 株式会社コーエーテックモゲームス代表取締役会長<br>平成25年6月 同社取締役顧問(現任)<br>当社取締役顧問(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社コーエーテックモゲームス取締役顧問 | 371,395株       |
| <p><b>【取締役候補者とした理由】</b><br/> 柿原康晴氏は、当社及び株式会社コーエーテックモゲームスの代表取締役会長としての経験・実績を有しております。<br/> 当社及び当社グループ各社の要職を歴任してきた経営者として、当社の経営への助言及び監督をしていただけると判断したため、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p>                                           |                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                                                                  | ふ り が な<br>氏 名<br>(生年月日)                | 略 歴、 当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 所有する当<br>社の株式数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                           | て じ ま ま さ お<br>手 嶋 雅 夫<br>(昭和32年11月18日) | 昭和57年4月 株式会社博報堂入社<br>平成4年3月 アルダス株式会社（現アドビシステムズ株式会社）代表取締役社長<br>平成6年11月 マクロメディア株式会社（現アドビシステムズ株式会社）代表取締役社長<br>平成13年2月 ティー・アンド・ティー株式会社代表取締役社長（現任）<br>平成16年6月 パーセクアンドエーティー株式会社（現パーセク株式会社）代表取締役社長（現任）<br>平成18年3月 オープンテーブル株式会社代表取締役CEO<br>平成26年6月 当社社外取締役（現任）<br>平成27年5月 株式会社ゼットン社外取締役（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>ティール・アンド・ティール株式会社代表取締役社長<br>パーセク株式会社代表取締役社長<br>株式会社ゼットン社外取締役 | —              |
| <p><b>【社外取締役候補者とした理由】</b><br/>手嶋雅夫氏は、ITとマーケティングの分野で数々の事業を立ち上げるとともに、3社の米<br/>国事業会社本社の経営陣の一員としてナスダック上場会社の経営や株式公開に携わり、それら<br/>の日本法人の代表を勤めるなど、要職を歴任されております。<br/>グローバルな経営者としての豊富な経験と幅広い知識を活かし、当社の経営に実践的・多角<br/>的な視点から助言及び監督をしていただけると判断したため、引き続き社外取締役として選任<br/>をお願いするものであります。</p> |                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                           | こ ばやし ひろし<br>小 林 宏<br>(昭和32年4月5日)       | 昭和55年4月 野村證券株式会社入社<br>平成3年1月 株式会社スクウェア（現株式会社スク<br>ウェア・エニックス）入社<br>平成3年4月 同社取締役<br>平成12年1月 株式会社ドワンゴ入社<br>平成12年5月 同社取締役<br>平成12年9月 同社代表取締役社長<br>平成24年12月 同社取締役相談役<br>平成27年6月 当社社外取締役（現任）                                                                                                                                                                            | 2,400株         |
| <p><b>【社外取締役候補者とした理由】</b><br/>小林宏氏は、変化の著しいエンタテインメント業界において長年にわたり要職を歴任してこ<br/>られました。<br/>経営者としての豊富な経験と幅広い知識を活かし、当社の経営への助言及び監督をしていた<br/>だけだと判断したため、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。</p>                                                                                            |                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。  
2. 手嶋雅夫氏及び小林宏氏は社外取締役候補者であります。当社は、両氏を東京証券取  
引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。両氏が再任された場合は、当社は  
引き続き両氏を独立役員とする予定であります。  
3. 手嶋雅夫氏及び小林宏氏は現在当社の社外取締役であります。両氏の社外取締役と  
しての在任期間は、本定時株主総会終結の時をもって、それぞれ3年及び2年となります。

#### 第4号議案 監査役3名選任の件

監査役3名は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、監査役3名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                             | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                 | 略歴、当社における地位<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 所有する当<br>社の株式数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| ※<br>1                                                                                                                                                                | ふくい せいのおすけ<br>福井清之助<br>(昭和28年11月10日) | 昭和63年6月 株式会社コーエー(現株式会社コーエー<br>テクモゲームス)入社<br>平成4年7月 同社取締役<br>平成7年4月 KOEI Corporation (現KOEI TECMO<br>AMERICA Corporation) Board Director<br>President<br>平成10年4月 株式会社コーエー(現株式会社コーエー<br>テクモゲームス)執行役員<br>平成12年4月 株式会社コーエーネット(現株式会社コ<br>ーエーテクモネット)執行役員<br>平成14年6月 同社取締役<br>平成14年10月 株式会社コーエー(現株式会社コーエー<br>テクモゲームス)執行役員<br>平成21年6月 当社執行役員<br>テクモ株式会社執行役員<br>平成22年4月 株式会社コーエーテクモネット代表取<br>締役社長<br>平成25年4月 株式会社コーエーテクモゲームス執行<br>役員<br>平成28年9月 当社執行役員(現任) | 7,256株         |
| 【監査役候補者とした理由】<br>福井清之助氏は、株式会社コーエー(現株式会社コーエーテクモゲームス)に入社以来、役職員として豊富な経験を積み、当社グループ各社の要職を歴任しました。<br>海外を含む当社グループの事業に関する広範な知識・見識を、当社の監査に活かしていただけると判断し、監査役として選任をお願いするものであります。 |                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |

| 候補者番号                                                                                                                                                                              | ふりがな氏名<br>(生年月日)                       | 略歴、当社における地位<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                              | 所有する当社の株式数 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 2                                                                                                                                                                                  | もり しま きとる<br>森 島 悟<br>(昭和22年1月2日)      | 平成12年12月 株式会社コーエー(現株式会社コーエーテクモゲームス) 入社<br>平成13年3月 同社財務経理部長<br>平成14年6月 同社常勤監査役<br>平成21年4月 当社常勤監査役(現任)<br>平成22年4月 株式会社コーエーテクモゲームス監査役(現任)<br>平成22年6月 株式会社コーエーテクモネット監査役(現任)<br><br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社コーエーテクモゲームス監査役<br>株式会社コーエーテクモネット監査役                                                                   | —          |
| 【監査役候補者とした理由】<br>森島悟氏は、株式会社コーエー(現株式会社コーエーテクモゲームス)の財務経理部長を勤め、財務会計に関する相当程度の知見を有しております。<br>これまで当社及び当社グループ各社の監査役として監査を行ってきた豊富な経験と幅広い知識を、当社の監査に活かしていただけると判断し、引き続き監査役として選任をお願いするものであります。 |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |
| 3                                                                                                                                                                                  | きた むら とし かず<br>北 村 俊 和<br>(昭和27年11月6日) | 昭和51年4月 株式会社横浜銀行入行<br>平成6年6月 同行十日市場支店支店長兼横浜若葉台支店支店長<br>平成10年1月 同行辻堂支店支店長<br>平成14年4月 株式会社はまぎん事務センター総務部長<br>平成15年7月 同社取締役総務部長<br>平成17年7月 同社常務取締役<br>平成18年4月 横浜キャリアアサービスク株式会社代表取締役社長<br>平成20年8月 横浜銀行健康保険組合常務理事<br>平成25年6月 当社社外監査役(現任)<br>平成26年7月 株式会社サンオータス社外監査役(現任)<br><br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社サンオータス社外監査役 | —          |
| 【社外監査役候補者とした理由】<br>北村俊和氏は、長年にわたり横浜銀行グループの役職員として勤務されておりました。その豊富な経験と幅広い知識を、当社の監査に反映していただけると判断し、引き続き社外監査役として選任をお願いするものであります。                                                          |                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |

(注) 1. ※印は、新任の監査役候補者であります。

2. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

3. 北村俊和氏は社外監査役候補者であります。当社は、同氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。同氏が再任された場合は、当社は引き続き同氏を独立役員とする予定であります。

4. 北村俊和氏は現在当社の社外監査役であります。同氏の社外監査役としての在任期間は、本定時株主総会終結の時をもって4年となります。

以 上

# 株主総会会場ご案内図

【会場】 横浜ベイホテル東急

地下2階 アンバサダーズ ボールルーム

神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番7号

TEL : 045-682-2222 (代表)

【交通】 みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩約1分

J R線・横浜市営地下鉄 桜木町駅より徒歩約10分

